

■ 乳癌手術の新しい流れ—Oncoplastic surgery 紹介 ■

乳腺・内分泌外科  
形成外科

野口 昌邦 教授  
島田 賢一 准教授

Oncoplastic surgery は Oncologic surgery (腫瘍外科) と Plastic surgery (形成外科) が合わさった乳癌手術の新しい流れです。金沢医科大学病院では乳腺・内分泌外科と形成外科が共同して、局所の根治性を損なうことなく、乳房の整容性を重要視する Oncoplastic surgery が行われています。

その一つは、乳頭乳輪を温存する乳腺全切除術を行い、エクspanderやインプラントで直ちに乳房を再建する方法です。これらのエクspanderやインプラントによる乳房再建術は自費診療でしたが、7月から、経験年数を積んだ専門医が常勤している施設で、乳房再建用の乳房インプラント(人工乳房)が保険適応(施設基準の取得)となりました。従来、乳房インプラントは自費診療でしか施行できませんでしたが、これから、保険による再建が可能となり、患者さまの負担が大きく軽減されます。

形成外科では、乳腺・内分泌外科との緊密な連携により、腫瘍切除から再建までトータルにケア、積極的に乳房再建を行っています。今回、保険適用となった人工乳房による再建のほか、自家組織(腹部組織、背部組織)による再建も行い、個々の患者さまに一番適した再建を施行しています。これまでは経済的な問題から再建を躊躇された患者さまも、今後は安心して再建手術を受けることができます。



(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院  
地域医療連携事務課

[regional@kanazawa-med.ac.jp](mailto:regional@kanazawa-med.ac.jp)

Kanazawa Medical University Hospital